

# 市政に対する

# 一般質問



光綾公園のローズガーデンが有料化となった経緯は



志政あやせ 齊藤 慶吾

●有料化となる光綾公園のバラ園について

Q 令和5年3月定例会で再整備されるローズガーデンの入園料を有料化するため、市都市公園条例の一部を改正する条例が上程されたが、有料化に至った経緯は。

A 県内外の類似施設を参考に調査研究を進める中で、繁忙期における周辺対策や広報プロモーションなど、通常の公園管理では計上しない観光資源としての課題が見え、4年10月と11月の行政改革推進本部の会議において、施設の有料化や料金体系などの管理運営の方針を定めた。

Q ローズガーデンが開園されるまでの期間に、市民に対し、有料化に至った経緯を丁寧に説明する機会が求められると思うが市の考えは。

A 6年5月の開園に向け、質の高い持続可能な魅力のある施設としての宣伝や有料化についての周知を適切な時期に丁寧に行っていく。

●給食費の無償化について

Q 少子化対策や子育て支援が急務と考えるが、国が今後3年間で取り組む政策の中で、給食費を無償化する交付



7月4日、綾南小学校の児童が議場を見学しました<議場にて>

金を措置した場合、本市の給食費を無償化するのか。

A 学校給食に関する制度の改正などにより、必要な財源が措置されることとなれば、本市も、国の施策に沿った支援を実施することになる。

志政あやせ 石井 麻理

●地震による災害での「綾瀬市防災教育指導計画」と「地域防災計画」について

Q 市ホームページでは、小・中学校における防災教育の推進を掲示しているが、今後、どう推進していくのか。

A 今後、国や県の通知を基に、各学校の防災教育の充実が図られるよう関係機関と連携して進めていく。各学校は、毎年、防災教育指導計画を見直し、立地状況や実態に即した防災教育を計画し、児童・生徒が適切な避難行動がとれるよう指導をしていく。

Q 近年、全国各地で地震が頻発しているが、避難所運営における本市の課題は。

A 現在、避難所の運営体制の根幹に関わる大きな課題は掘り起こせていない。今後、避難所運営マニュアルの検証や地域防災計画などに基づく実践的な訓練を行う中で、改善点など避難所運営に係る課題を明確にしていく。

●地震による災害での「綾瀬市業務継続計画」について

Q 令和元年6月定例会の一般質問では、訓練や研修を通して、課題解決や職員意識啓発を図っていくと答弁していたが、進捗状況は。

A 現在、具体的な訓練や研修は実施できていない状況にある。今後、計画の見直しを行う中で、職員に対し、計画の趣旨と概要の理解を得る方策を検討していく。

志政あやせ 笠間 功治

●小学生の放課後支援について

Q 本市の学童保育料は、近隣市と比較すると高い状況である。補助が必要な世帯などにに対し、今まで以上に減免措置の拡充を図らないか。

A 民設と公設も同様の支援となるよう保育料を助成しており、学童保育をより利用しやすくするため、低所得者のひとり親世帯への減免の適用を検討していきたい。

Q あやせっ子ふれあいプラザは小学校を活用して実施されているが、学校側との連携体制はどうなっているか。

A 緊急時にも子どもたちの安全を確保するため、保護者への連絡など、連携しての対応に努めている。今後も学校と密に連携していきたい。

Q 間もなく築50年を迎える児童館の維持管理を考えると、自治会館との複合化の整備方針を定めており、令和8年度以降の第2期アクションプランで検討していきたい。

Q こども基本法は、子ども施策の策定に子どもの意見を反映させることを義務付け



補助が必要な世帯に対し学童保育料の減免措置拡充を



一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をたずねることができるものです。6月定例会では、6月15日・16日・19日の本会議で16人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です(掲載は質問順、5ページまで続きます)。見出し下部の二次元コードから市議会ホームページに掲載の各議員の一般質問の録画映像にアクセスできます。

ているが、施設整備や施策へどう反映させるのか。

A 子どもたちの身近な手段であるインターネットなどの活用や、児童館などでのヒヤリングにより意見を把握し、施策に反映していく。

詳しい内容は会議録・HPで

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。

なお、6月定例会の会議録は、8月下旬に閲覧できる予定です。

綾瀬市議会 検索

